



自他を大切にするとともに、主体的に考え・動く子どもの育成

～つよく かしく あたたかく～

呼子っ子

唐津市立呼子小学校

学校便り No.6

令和元年7月8日

文責： 宮本 克一

7月の全校朝会の話から

「責任ある行動を積み重ねて…」

令和元年の呼子小学校の子どもたちの目指す姿はズバリ、「キラリと光る よぶこっこ」です。今月はその中の「㊦つかりやる気 バリバリ仕事」についてのお話です。

学校生活の中では各教科の学習以外にもクラスの係活動や当番活動、また委員会活動、掃除、給食当番など子どもたちの心を育てる活動がたくさんあります。しかし、学習と同じでこれらの活動もさぼったり、誰かにまかせて自分でやらなかったりしては周りの人に迷惑をかけるとともに、自分自身の心の成長につながりません。逆に自分のやるべきことをしっかり考えて、責任を果たすことで周りの人が助けられたり、学校生活がより良いものになったりすると思います。毎日の学校生活の中でこのような場面はたくさんありますね。さて、みなさんは自分の責任を果たさずに、さぼったり、わすれていたたりしていませんか？もう一度、自分の学校での生活を振り返ってみましょう。みなさんが大人になって、社会で生きるということは、周りの人々と協力したり、自分の役割をきちんとはたしたり、責任ある行動をすることです。逆に自己中心的な行動により社会的に大きな迷惑をかけるということは多々あります。学校生活における係活動や当番活動、委員会活動、掃除、給食当番など子どもにとっての仕事は責任を持ってやり遂げるという経験をしていることとなり、大人になるための大切な準備をしているのです。大人になって社会で豊かに生きる準備をしている学校生活でたくさんの「責任ある行動を積み重ね」て、たくましい心を育ててください。それが、「キラリと光る よぶこっこ」です。

(校長の話の一部抜粋)

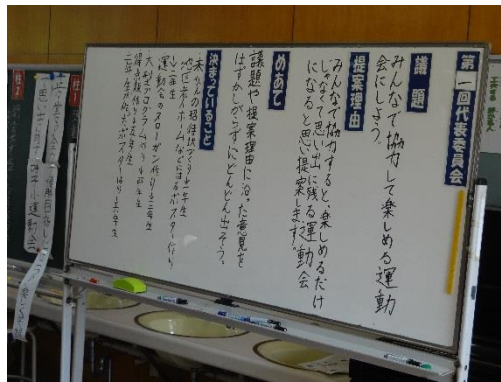


呼子市民センターが学校施設の点検をしてくださいました！

学校では毎月、月の初めに学校内の様々な施設の点検をしています。子どもたちが安心・安全な学校生活を送る上で欠かすことができない点検です。その点検で見つかった危険な箇所や修理が必要な箇所などは呼子市民センターと相談しながら対応しています。しかし、校舎も古くなり、それだけでは対応できないような箇所もあるということで呼子市民センターのセンター長さんや担当者の方々が直接、点検に来てくださいました。機器を使って床の傾きを調べたり、入口のドアの開閉状況を確認したり、天井の天板の様子を確認したり、漏水などの状況を確認したりしていただきました。学校は保護者や地域の方々（市民センター・公民館）に様々な面で支えられていることを改めて感じました。本当にありがとうございました。



代表委員会で「運動会」の話し合い



9月に予定している運動会について「代表委員会」を行いました。議題は「みんなで協力して楽しめる運動会にしよう」でした。各クラスで学級会を行い、クラスでまとめた意見を出し合いました。各クラスを代表して参加している児童の話し合いでは、出された意見をまとめて一つにしたり、賛成の理由をきちんと説明しながら意見をいったりととてもいい話し合いができました。この代表委員会が終わると、少しずつ運動会の準備が始まります。

＜代表委員会で決まったこと＞

- 準備体操で全員で「パプリカ」を踊る
- スローガンを全校児童で言う
- 赤と白の健闘を願って、「エール」の交換をする
- 「さんぽ」を歌いながら入場する

これが運動会当日にどんな姿で見れるのか・・・楽しみですね！



今年もやいます！！ハイヤ節(4年生)

今年も恒例の4年生「呼子ハイヤ節」の練習が始まりました。この「ハイヤ節」の取組みは呼子小学校の伝統の一つになっていて、もう10年近く続いているそうです。講師には城谷ルリ子さんと野崎孝代さんのお二人にお願いして、指導していただきます。練習の成果は11月以降の「児童集会」や「呼子町文化祭」などで披露します、また、それ以外でも数回、地域の行事等で発表の場を作ろうと考えています。呼子の伝統芸能の触れ、地域を愛し、誇りに思える大人になってほしいと願っています。



＜講師の城谷さんと野崎さん＞

